

## 岩木健康増進プロジェクト健診にご参加いただいた皆様へ

岩木健康増進プロジェクト健診で収集した健診データを下記の研究・開発のために提供及び利用させていただくことになりました。項目5に記載した年度の健診にご参加いただいた方で、ご自身のデータが提供及び利用されることを希望されない場合には、「情報利用提供停止願」を項目12の送付先までご提出くださいますようお願い申し上げます。ただし、お申し出いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、データを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。また、本研究に関する詳細をお知りになりたい方は、項目13に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

1 研究課題名	血中テストステロン濃度と外的要因との関連解析
2 研究責任者の氏名と所属研究機関の名称	株式会社テクノスルガ・ラボ 久田 貴義
3 共同研究機関等の名称と各施設の責任者の氏名	弘前大学 三上 達也
4 研究期間	実施許可日 ～ 2025年 3月 31日
5 提供・利用するデータ	2018～2019年度の岩木健診で取得されたデータ ・ 先行研究「岩木地区住民における健康調査（平成29年度岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診）およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」、及び「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録されたデータです。 ・ 個人を特定できる情報は利用しません。 ・ 本データの提供は、COIデータ管理委員会及び倫理審査委員会の審査で承認されています。
6 データの提供・利用目的	近年、代表的な男性ホルモンであるテストステロンの低下は、腸内細菌叢の多様性の低下を引き起こすと報告されています。腸内細菌叢の多様性の低下は、様々な疾患リスクになることが示唆されています。 テストステロンは、食習慣、運動、喫煙、睡眠などによっても影響を受けることが報告されています。 健診データを用いて血中テストステロン濃度と様々な外的要因との関連を調査します。
7 データの利用方法	健診データを弘前大学の解析システムを用いて解析します。なお、データの提供は弘前大学 COIデータ管理委員会が安全性を確認した媒体を用いて行います。
8 データの提供予定日	2018～2019年度のデータは、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」（承認番号：2021-166-3）で提供済です。

9 本課題の資金源について	本課題の資金源は、株式会社テクノスルガ・ラボが出資する共同研究講座の研究費用です。利益相反が生じる可能性があります。この研究の利害関係については、弘前大学及び株式会社テクノスルガ・ラボで責任をもって管理いたします。
10 データの提供機関及び機関の長の氏名	弘前大学健康未来イノベーション研究機構 機構長 村下 公一
11 データの管理・提供責任者の氏名	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター センター長 玉田 嘉紀
12 情報利用提供停止願送付先	郵送先: 〒036-8562 弘前市在府町5 弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 玉田 嘉紀 電話: 0172-39-5037(代表) FAX: 0172-39-5205
13 本研究に関するお問い合わせ先	株式会社テクノスルガ・ラボ 技術部 技術・製品開発課・課長 久田 貴義 住所 〒424-0065 静岡市清水区長崎 388 番地の1 電話 054-349-6211 Email th_1005@tecsrg.co.jp